

市民生活実感調査について

1 調査の目的

京都市が取組を進めている様々な分野において、市民の皆様がどのような実感をお持ちなのか、また何を重要と感じておられるのかについて調査しました。

皆様からいただいた回答を集計、分析し、その結果を市の政策評価や市の仕事を効果的に進めるための重要な情報として活用します。

2 調査の概要

(1) 調査対象

20歳以上の京都市民 3,000 人(住民基本台帳登録者及び外国人登録者から無作為抽出)

(2) 調査内容

施策ごとの生活実感(106項目)及び政策についての重要度(27項目)

施策ごとの生活実感については、設問が多いため3組に分けて実施

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布、回収

(4) 調査期間

平成16年5月

(5) 回収状況

ア 回収数 1,237(回収率 41.2%)

イ 有効回答数 1,237(有効回収率 41.2%)

3 調査結果(市民参加関係のみ)

(単位：%)

質 問	そう思 う	どちらか というそ う思 う	どちら とも言 えな い	どちら かとい うと そう思 わな い	そう思 わない	不明無 回答
市の職員と市政に関する意見交換が気軽にできる。	2.1	10.2	28.8	23.7	29.5	5.8
市政に参加したいと思ったときに、必要な情報を得やすい。	1.2 (2.0)	9.0 (7.0)	33.2 (36.2)	24.4 (22.0)	20.9 (20.6)	11.4 (12.2)
市の計画や条例に対する意見募集や委員公募など、企画段階から市民が意見を言う機会が十分ある。	0.9	6.5	31.8	24.1	25.8	10.9
多様な事業やイベントなどにおいて、市民や行政が力を合わせて取り組む機会が十分ある。	3.9 (4.6)	20.2 (19.7)	36.2 (36.8)	16.7 (14.8)	11.6 (13.9)	11.4 (10.1)

カッコ内は、前年度の数値を表す。